

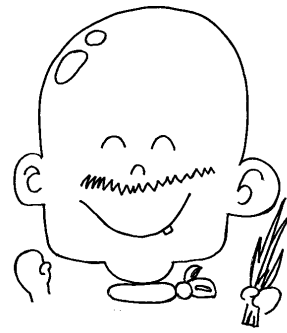
# 農大同窓会報

発行所  
愛知県立農業大学校同窓会  
岡崎市美合町字並松1-2  
電話(0564)51-1601

編集発行人  
同窓会長 柴田 隆夫  
印刷所 (株) イヅミ  
電話(0564)21-2657

## お天とう様の話

会長 柴田 隆夫



そんな中、この温暖化は本物か？いつまでどこまで続くのか？と真剣に考えてみたのです。

とりあえずデータをみてみました。

サイクル25の今後がどうなるのか？これが大問題であり大注目である。と聞いて「確かに！」と思える方は、気象についてかなり関心のある方だと思えます。地球温暖化と言われて久しく脱炭素社会を目指すという国の方針も示され、IPCCという政府間パネルも回を重ね、CO<sub>2</sub>排出NO<sub>2</sub>の声は世界の潮流になっています。

我が家は、キャベツ農家を営んでおり、寒い冬である事が経営的にはプラスなのです。

しかし、ここ3年は、暖冬に新型コロナウイルス感染症の影響で経営不振にあえいでいます。

農業大学校のある岡崎のデータ(アメダスが校内にあるそうです。)1980年から5年間の平均気温が14℃。2016年から昨年までが15℃。あらまあ：16℃の上昇。同じ期間を気象庁の世界の平均気温で見ると40年間で0.8℃の上昇なのでちょうど倍の上昇！あらららら、大変！

「どうしよう。南国フルーツ果樹園でもやるのか？」  
んっ？いろいろ調べてみるうちに別の主張をする科学者を多数発見。「2030年には、寒冷化が始まる。」へ？マジで？あと9年でつてすぐですか。何で何で？何と太陽活動が1000年(200年のうち最低レベルまで

弱まっている。しかもこの傾向は、1976年から続いている(サイクル21)！ここ近年、2008年は、無黒点が265日。2009年は262日。2019年は、なんと281日と極端に弱まっている。

太陽が眠りに入っていると表現される方もいるほど。しかも、サイクル23は、12年と4ヶ月という長さになった。(通常は1サイクル11年)太陽活動が極端に弱まる前兆とも見られています。

過去に何度も、太陽活動の低下による地球寒冷化はありました。有名なのは、マウンダー極小期という時代。17世紀中〜18世紀の初頭の頃で、およそ70年間続き、イギリスのテムズ川の凍結や日本でも大飢饉に何度も見舞われました。

ほお。すごいことになっていくんだ、お天とう様。  
んっ？1960年頃から一貫して活動が弱まっている太陽。はあ？その間ほとんど温暖化している。まるつきり逆だ！どういうこと？やっぱりCO<sub>2</sub>？これには理

由があつて地球は7割が海で大きな湯たんぽを抱えているようなもの。水は温まり難くて冷め難い。よって地球気温に反映されるまで数十年規模の時差が生じるということ。

ということが海水温のデータが気になったので、また気象庁の世界の海水温グラフを並べてみると、オッ！5年平均移動曲線がやはり上昇しているのだが、2000年あたりから横ばいに転じているように見える。



## ごあいさつ 同窓会員の皆様

校長 堤 公生

本校同窓会員の皆様方には、益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃から、柴田隆夫会長様を始め、同窓会の役員、理事、会員の皆様方には、本校の円滑な運営に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本校校長として2年目を迎えました。が、職員、学生とのコミュニケーションを図りながら円滑な教育研修業務の運営にあたりたいと思いますので、同窓会員の皆様方には、これまで同様よろしくお願ひ申し上げます。

本稿執筆時点で、東京オリピック2020の1年遅れの開

1800年代からの太陽活動と照らし合わせると、約60年ほど遅れて海水温に反映されているように見える。すると一番活発であったサイクル19のピークに当たる1959年から60年後は2019年。ということは今まさに越えたところ。あと5〜10年すれば、寒冷化がはつきりとしてくるかもしれない。

太陽のサイクル25は2020年に始まったばかりなので、今後に注目なのです。

幕が間近に迫っています。日本を始め、参加するすべてのアジアの活躍に大いに期待しています。一方では、未だ新型コロナウイルス感染症収束の目途がみえてこない状況です。油断することなく、日頃からコロナ対策に配慮して学校運営にあたりたいります。

コロナの影響で海外派遣研修中止を始め、何かと学習面や生活面で影響を受けた中、参加者を制限して令和2年度卒業式を3月5日に執り行ない、農学科89名が新たな進路に進みました。卒業生89名中、29名が就職(後継者就農と農業法人への雇用

就農)し、就農前提の一時就職や海外研修が14名、進学が4名、そしてJ.A等への就職が34名でした。本県農業の担い手として、また、農業を支える人材として、卒業生の今後の活躍を大いに期待しています。同窓会の皆様には、機会がございましたら、先輩としてこれら卒業生への御指導、御支援をお願いいたします。

また、4月9日には新たに農学科1年生83人を迎え入れ令和3年度入学式を行いました。

近年定員を上回る受験者を確保していることに関して、農業高校との連携強化、同窓会員を始め関係各位の御支援と御協力のおかげと感謝いたしております。しかしながら、本年度の入学者減少は、少子高齢化が進み就学人口の減少が顕著な中で、「学生から選ばれる農大」を目指さねばならないという課題提示と捉えています。

2025年を目標とする「教育研修基本計画2025」を策定して、「意欲の高い学生等の確保に向けた魅力ある農大づくり」「学校教育の充実」などに取り組んでいるところです。また、農大組織の一部再編により、新規就農に対する相談及び支援・指導体制の整備として大学校内に「農起業支援ステーション」を設置(9ページ参照)して、関係機関と連

携のもとに担い手確保もすすめています。

最近、気になったことをご紹介します。気温、降水量などの30年間の平均を平年値といいますが、5月に気象庁は10年ぶりにこれを更新しました。1981年から2010年までの30年間の平均が、1991年から2020年までのそれに置き換わりました。この結果、名古屋の場合、毎月の平均気温が少ない月で0.2度、多い月では0.5度も上昇しています。地球温暖化についてよく言われますが、データ的にもはつきりと現れています。

近年、豪雨や台風等による自然災害は甚大なものがあります。また、過去に農大でも台風による栽培施設への被害が発生し、同窓会の方々の御支援により復旧しました。農業と天候は常に密接な関係にあります。我々は地球規模での気候の変動の中で、農畜産物生産に関わっているのだと言うことを、十分に認識したうえで教育、研修にあたっていくことが重要であると考えさせられました。

さて、2020年2月からICTを活用した温室でトマト栽培を開始し、学生達は現在1作半を終えました。栽培環境制御による収量向上や農場管理の進め方など、工夫しながら専攻オ

リジナルの管理技術を構築することを大いに期待しています。また、企業の御協力を得た自動運転田植機を使用した専攻実習、コロナ対策としての入学式等イベントや各種研修のオンライン配信やリモート就農相談など、スマート農業及び学習方式の改善に取り組みつつあるところです。今後これら取組の充実を図るため、先端技術を有効に活用する知識を習得するためのカリキュラムの充実、スマート農業の実践学習に向けた校内の環境整備といった課題にあたってまいります。

本校は卒業生の概ね5割が、一時就職を含めて自営または雇用形態で就農していることもあり、本県農業の担い手養成においての使命は、ますます重要であると考えています。

この重要な使命を遂行するため、常に教育現場重視の視点で創意工夫や改善を図りながら、教育内容の一層の充実や円滑な学校運営に努めてまいります。同窓会の皆様にも一層の御支援、御協力、御鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様の更なる御活躍と御繁栄を心から御祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

## ◆◆令和3年度理事会だより◆◆

令和3年2月5日(金)午前10時30分から、令和3年度農業大学校同窓会理事会が中央教育棟研修室において開催されました。

柴田会長、堤校長のあいさつの後、柴田会長を議長に選出して議事が進められました。

第一号議案 令和2年度事業報告については、同窓会報の発行、役員会・理事会の開催、卒業生への記念品贈呈などについて報告があり、異議なく承認されました。

続いて、第二号議案 令和2年度会計決算報告について説明の後、審議に入りました。農大におけるコロナ対策などの質疑応答の後、異議なく承認されました。

その後、第三号議案 令和3年度事業計画について、及び第四号議案 令和3年度会計予算について説明の後、審議に入り両議案とも異議なく承認されました。

最後に、第五号議案 理事の委嘱及び役員互選について、現在の役員を引き続き選出するとの原案どおり承認され、全ての議事を終了しました。

なお、理事会終了後、取り壊し予定の「資料室」等の見学を行いました。



「資料室」を見学する理事の皆様

## 次期理事会 開催のお知らせ

同窓会規約により、令和4年度は次のとおり開催予定です。で、理事の皆様は出席をお願いいたします。

日時 令和4年2月4日(金)

午前10時30分から

愛知県立農業大学校

中央教育棟研修室

東海近畿ブロック  
同窓会長会議

令和3年度の東海近畿ブロック農業大学校同窓会長会議は三重県での開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となっていました。  
なお、令和4年度は岐阜県において開催される予定です。

農業大学校同窓会名簿  
の購入御案内

平成26年11月に同窓生名簿を発行しました。御購入を希望される方は、同窓会事務局へお問い合わせください。

名簿頒価：1冊3,000円(消費税、送料込)  
恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい。

同窓会事務局 ☎ 0564-51-1602

令和三年度  
役員名簿

|            |           |            |            |          |            |          |          |
|------------|-----------|------------|------------|----------|------------|----------|----------|
| 名譽顧問       | 顧問        | 會計         | 書記         | 事務局長     | 會計監事       | 副会長      | 会長       |
| 加藤喜重郎(元校長) | 堤公生(校長)   | 岡本貴幸(大農二五) | 伊藤真二(大農二九) | 尾崎芳弘(専四) | 鶴飼里恵(大農一五) | 富永康典(専八) | 柴田隆夫(専九) |
| 長尾周幸(〃)    | 有澤道雄(〃)   | 大井昌次(〃)    | 武井昭夫(〃)    | 内山公男(〃)  | 鈴木良憲(〃)    | 木村茂夫(〃)  | 落合秀彦(〃)  |
| 村井智子(〃)    | 林智子(〃)    | 伊藤茂樹(〃)    | 犬飼唯士(〃)    | 山田勝(〃)   | 鈴木敏之(〃)    | 藤井敏之(〃)  | 三浦貞志(〃)  |
| 友松啓二(前校長)  | 鈴木吉地(前会長) |            |            |          |            |          |          |

農学科の令和2年度卒業論文発表会を開催しました

農学科の卒業論文発表会を令和2年12月17日(木)に開催しました。

11月に開催した意見発表会同様、「3密状態の回避」のため、大講義室に2年生、和耕寮食堂に1年生と2会場を使用し、インターネット回線で会場間を繋ぎました。

農学科では、2年生全員が1人1課題以上のプロジェクト活動に取り組んでいます。学生自らが農業を学ぶ中、また専攻実習に取り組む中で感じた疑問点や改善点を課題とし、様々な試験を行いながら得られたデータを科学的に検証し、卒業論文としてまとめます。卒業論文発表会はその成果を専攻毎に選ばされた2年生9名(昨年度に引き



大講義室で発表を聴く2年生

続き養豚・養鶏専攻から2名)が10分間の発表を行うもので、自分の取り組んできたテーマを全学生の前で発表できる絶好の機会です。

発表会当日は、いずれの発表者も専攻の代表であるという自覚と責任を持って、素晴らしい発表を行いました。審査は、堤校長始め4名の審査員が「発表内容」「発表方法及び態度」「質疑に対する応答」の各審査項目に基づいて実施し、最優秀賞1名と優秀賞2名を選出しました。各賞の受賞者は以下のとおりです。

最優秀賞

星川 優(養豚・養鶏専攻)  
「夏季における豚精液性状の改善と繁殖成績の向上」

優秀賞

平野 翔吾(作物専攻)



和耕寮食堂で発表を聴く1年生

「特別栽培米「コシヒカリ」における深水栽培の検討(環境測定ITセンサーの活用)」

優秀賞

宮蘭 航平(露地野菜専攻)  
「サトイモにおける種芋の「逆さ植え」が収量に及ぼす影響」

審査委員長である堤校長は講評の中で、「限られた期間や条件の中で取り組みに苦労したと思うが、どれもレベルの高く内容のある素晴らしい発表であった。」と本人や専攻の関係者を労いました。

最優秀賞の星川君は「東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会」に本校代表として参加する予定でしたが、やむを得ない理由から参加できなくなつたため、優秀賞の平野君が代わりに参加しました。



左から平野君、堤校長、星川君、宮蘭君

# 農業大学の近況

(人数は入学時点)

## 1 概況

令和3年度の農学科の学生数は1,2年生あわせて186名で、そのうち女子は50名で27%にあたり、ここ数年はほぼ同水準で推移しています。専攻別学生数は表1に示したとおりで、果樹専攻と野菜の2専攻、酪農専攻の学生数が多い傾向が続いています。また、畜産2専攻(酪農専攻、養豚・養鶏専攻)は女子学生の割合が47%と高く、女子の人氣が高い傾向となっています。

一方、企画研修部(旧・研修部)では、Uターンや他分野からの新規就農、離職者等再就職訓練を支援する長期間の就農支援研修を3つ開講しています。令和3年度は3研修で計61名が受講

表1 令和3年度農学科の専攻別学生数 (単位:人)

| 専攻名    | 1年生     | 2年生      | 計        |
|--------|---------|----------|----------|
| 鉢物・緑花木 | 6 (2)   | 15 (5)   | 21 (7)   |
| 切花     | 5 (4)   | 14 (3)   | 19 (7)   |
| 作物     | 8 (0)   | 8 (2)    | 16 (2)   |
| 果樹     | 14 (4)  | 15 (3)   | 29 (7)   |
| 露地野菜   | 14 (3)  | 14 (2)   | 28 (5)   |
| 施設野菜   | 14 (0)  | 16 (2)   | 30 (2)   |
| 酪農     | 14 (7)  | 14 (5)   | 28 (12)  |
| 養豚・養鶏  | 8 (4)   | 7 (4)    | 15 (8)   |
| 計      | 83 (24) | 103 (26) | 186 (50) |

( )内は女子の人数で内数

表2 農学科の入学生数の推移

| 入学年度 | 入学者数 | 女子学生数 |     | 農家子弟数 |     |
|------|------|-------|-----|-------|-----|
|      |      | 割合    | 割合  | 割合    | 割合  |
| H28  | 106  | 33    | 31% | 32    | 30% |
| H29  | 96   | 27    | 28% | 34    | 35% |
| H30  | 95   | 25    | 26% | 37    | 39% |
| H31  | 97   | 24    | 25% | 32    | 33% |
| R2   | 104  | 28    | 27% | 29    | 28% |
| R3   | 83   | 24    | 29% | 27    | 33% |

表3 農学科卒業生の進路状況

| 卒業年度 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|------|-----|-----|-----|----|----|
|      | 就職  | 35  | 43  | 45 | 37 |
| 進学   | 4   | 4   | 1   | 1  | 4  |
| その他  | 1   | 6   | 6   | 3  | 8  |
| 計    | 89  | 102 | 93  | 90 | 89 |

しています。また、福祉事業所職員が施設の栽培ほ場を運営するのに必要な基礎知識及び技術を修得するとともに、農作業を行う作業者にわかりやすく伝える手法を身につけることを目的とした農福連携支援研修を開講し、9名が受講しています。

本校キャンパス内では、農学科の若い学生から社会人経験のある研修生まで、幅広い年齢層の人々が学んでいます。

## 2 農学科の入学状況

本校では、意欲の高い学生を確保するため、オープンキャンパスや緑の学園研修、農業改良普及課を通じた県内各JA広報誌への学生募集の掲載などを実施しています。そうした取組の結果、本年度は、定数100名に対し102名の受験者があり、試験の結果、83名が入学しました。う

ち、専業及び兼業農家子弟の学生は27名で入学者全体の33%、非農家出身者は77%とこの傾向は近年変わっていません。また、女子学生は24名(29%)で、県内農業高校出身者は57名(69%)でした。(表2参照)

## 3 農学科卒業生の進路状況

本校では、1年生のうちから進路セミナー等を実施して、進路の方向付けや就職活動の支援する体制をとっています。令和2年度農学科卒業生の進路状況は表3のとおりです。89名の卒業生のうち、親元や農業法人など就職した者は、予定者を含めると39名で全体の44%にあたります。また、就職した卒業生の多くは、農業関連企業や団体に就職しました。なお、進学者は4名で国立大学への編入試験に合格しました。

本校では職業安定法に基づく「無料職業紹介事業」を実施して、多くの農業法人等から求人をしていただき、学生の就農等を支援しています。同窓生の皆様からの求人をお持ちしております。

## 農学科各グループの近況

### 「花きグループ」

(鉢物・緑花木専攻)  
ガラス温室や遮光ハウスなど約1600㎡の施設と300㎡の露地ほ場を利用して、鉢花、観葉植物、洋ラン、緑花木、花壇苗等100種類以上の品目を栽培しています。在籍者20名(2年生14名、1年生6名)のうち専業農家出身者は3名で、普通

科高校卒業生も多くいます。専攻実習では、1年生の6月に「鉢花、観葉植物、洋ラン、緑花木」の4つの部門に分かれ、学生の「新たな品目や技術にチャレンジしたい」などの意見や発想を積極的に取り入れることで、実習作業内容の充実を図っています。

本年度のプロジェクトテーマとして、「アンスリウムの用土による生育の違い」などに取り組んでいます。学生それぞれアイディアを生かし、品質向上や低コスト化、省力化など農業経営の改善に繋がるよう取り組んでいます。



〔切花専攻〕

約1500㎡の温室と200㎡の露地ほ場でキク、バラ、ストック、ヒマワリを主体に、カーネーション、ケイトウ、ペニバナ、ハイビスカスなど、10種類以上の植物を栽培しています。本年度の在籍者19名(2年生14名、1年生5名)のうち、専業農家の子弟は5名います。1年生は、8月までに全ての品目の基礎的な栽培管理を学び、9月中旬から10月下旬までの農家派遣実習で鍛えられ、より逞しくなっています。派遣実習後に、キク、バラ、洋花の3

部門に分かれて、2年生の秋までにプロジェクト学習に取り組めます。実習で毎朝収穫した切花は、週2回(月、金曜日)、市内の花き市場に出荷しています。また、毎週水曜日に実施する実習販売では、切花加工実習で習得した技術を生かして自分たちで作った多品目を組み合わせた花束も販売しており、お客さんの反応を楽しみながら、意欲的に取り組んでいます。



〔野菜グループ〕

(露地野菜専攻)  
露地野菜専攻には、1年生14名、2年生14名の計28名が在籍し、露地野菜と促成イチゴの技術習得に取り組んでいます。1.5haのほ場で、冬はキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、夏はスイートコーン、スイカ、ナスなど、県内の主要40品目の勉強をしています。また、イチゴの高設栽培において、昨年から環境測定装置の「あぐりログ」を設置・活用しています。昨年は暖房機の更新に合わせて、新たに炭酸ガス発生機を導入し、今年度はさらにミストによる湿度管理を始め本格的な環境制御技術に挑戦しています。

近年の異常降雨に対応するため、バックホーによる明きよ排水路の整備とプラソイラーによる深耕を行っています。また、作柄安定のため夏期の遊休期間を利用して緑肥を栽培しています。



**〔施設野菜専攻〕**

施設野菜専攻には、1年生14名、2年生16名の計30名が在籍し、40aの温室で、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、メロンを栽培しています。本専攻では、現場の実情に対応してコバツグ栽培や袋培地栽培などの県内で普及している有機培地養液システムを導入しました。

最近、ミニトマトを希望する農家子弟が増えたこともあり、昨年から温室に環境測定機器の「プロファイナダー」を導入するとともに、炭酸ガス発生装置と高圧ミスト装置を設置し、本格的な環境制御に取り組んでいます。

また、ICT温室が昨年2月に完成しました。「プロファーム」を核とした統合環境制御システムを完備し、昨年8月から本格的な運用体制が整い、10a当たり年間収量35tを目指した学生のプロジェクト学習を行っています。



号)の栽培や、農機具メーカーと連携した密苗栽培などをテーマとして取り組み、高生産性及び付加価値の高い

す。最新の温室を前に学生の士気が高まっています。



**〔作物・果樹グループ〕**

16名の学生(農家子弟は7名)で、1haの大区画水田をはじめ大小9区画、計3.3haの水田で大型機械を利用して水稲、小麦大豆の栽培に取り組んでいます。

1年生は水稲栽培に関する基本知識が身に付けられるよう実習を進め、2年生からプロジェクト学習に取り組み、卒論としてまとめていきます。そのため、2年生になると各学生には場を割り当て、担当学生が責任を持っては場の作業や栽培管理、生育調査等を行う体制としています。

無農薬・無化学肥料栽培や糯米、飼料用稲の栽培法の検討、さらには農業総合試験場で開発した業務用多収米(愛知135



て、「ブドウにおける青色LEDによる貯蔵中の着色改善」や「ナシの花粉の遺伝子による果

技術に取り組んでいます。また、昨年は、J A あいち 経済連の協力を得て、ラジコンヘリを使った薬剤散布の実演やドローンのデモ飛行を行いました。

**〔果樹専攻〕**

本年度は、1年生14名と2年生15名の計29名の学生で、2.2haの露地ほ場においてブドウ、ナシ、モモ、カキなど県内主要品目を栽培しています。また、イチジク、ミカン、ブドウのハウス栽培も行っており、県内の果樹営農類型の多くを学生は学ぶことができます。

多様な樹種と栽培方式のため、開花期から収穫前の7月までは摘果や袋掛け、ホルモン処理など管理作業のため学生たちは多忙な毎日をおすごします。7月に入ると順次収穫が始まりますが、いずれの果実も実習販売では人気商品で、買い求めるお客様の列が絶えません。

学生は、入学当初は数多くの樹種の基本的な技術を学びますが、プロジェクト学習ではテーマを決めてより専門的な知識・技術を習得します。本年度の



は、牛床のかさ上げ工事やマットの敷設、スクレツパの更新が行われ、牛がより過ごしやすい環境

実品質への影響」などが取り組んでいます。

**〔畜産グループ〕**

乳用牛約25頭、肉用牛約30頭、育成牛約30頭の計85頭前後の牛を1年生14名と2年生14名の学生が飼養管理しています。また、約45haの圃場でトウモロコシや牧草など自給飼料生産も行っています。

学生の多くは非農家出身で、本校に入学して初めて牛に触れることもありましたが、1年生も、2年生や専攻の先生の助言を受けながら飼養管理技術を身につけていき、夏休み前にはしっかりと管理できるようになっています。

生き物の世話、特に搾乳作業は、年間を通して休みなく毎日の当番制で回していくため、実習時間数は全専攻の中でも突出しています。その中でも学生たちは、自分たちで名付けた牛たちを名前で呼びかけながら愛情いっぱい飼養し、どの農場よりも人懐っこい牛群が形成されています。



で、学生がお客様に直接、鶏卵を販売することにより、接客や直販での売り方を学んでいます。

**〔養豚・養鶏専攻〕**

養豚コースでは、交配から分娩、育成、肥育、出荷に至るまでの一貫した飼養管理の知識と技術を学んでいます。特に、派遣実習を終えた1年生の各学生は、担当する母豚を決め、繁殖成績、肥育成績などを競い合うことで、責任感を持って飼養管理ができるような体制を取っています。

養鶏コースでは1年生4名、2年生3名の計7名が在籍し、ウインドウレス鶏舎、開放鶏舎で、白玉・赤玉鶏、卵用名古屋コーチン、岡崎おうはん等を合計約2500羽飼育し、採卵鶏の飼養管理技術について学んでいます。新たに入ってきた1年生は、5月にはひなが1200羽入すうし、ひなの飼養管理技術について学ぶことができました。また、毎週水曜日に行われ

を整えることができました。趾蹄に及ぼす負荷の減少とともに、今後もアニマルウェルフェアを意識した飼養管理を実践し、生産への波及効果を期待しています。

## 農大祭

### 農大祭2020を開催

令和2年12月5日(土) 午前9時から正午まで、「未来へ継げよう農業の道」雨二モ負ケズ 風二モ負ケズ」をテーマに「農大祭2020」を開催しました。

新型コロナウイルスの流行で、愛知県からはイベント等の開催要件も示される中、開催できるか、どう開催するかなどを農大祭実行委員会等で何度も真剣に議論しました。その結果、食品バザー等の飲食を伴う催事は実施できませんでしたが、農産物の販売を中心に開催することができました。

当日は、本校に設置されているアメダスの正午の気温が14.5℃と、12月とは思えない穏やかな日となり、午前8時15分の受付開始とともに、お目当てのブースや整理券を求めて来場される方が見えなくなり、例年より少なめですが、約1,000名の方に来場いただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大



会場風景

防止の為、入場方法の変更や受付では来場者の検温等を行うなどして、安心安全な農大祭の開催を実現しました。

学生が丹精込めて育てた各専攻の農畜産物の直売ブースは毎年大変好評です。今年も体育館は鉢物・緑花木専攻のシクラメンやポインセチア等で埋め尽くされました。

テントブースでも、養豚養鶏専攻の卵や露地野菜専攻のハクサイ、キヤベツ、作物専攻の米等を買いたい求める姿が見られ、ソーシヤルディスプレイの確保に努めながら販売を行いました。また、例年にはないわら細工やリースなど農大生手作りの商品も並びました。

後援会



露地野菜専攻の販売



鉢物・緑花木専攻の販売



受付

のブースでは、学生の保護者が収穫した野菜や花、果物、豚肉などを、隣のブースでは、協賛団体提供のお菓子やしいたけ、牛乳、リンゴ、うずらの卵、大葉などを後援会の皆様の協力を得て好評のうちに販売しました。

9時30分と11時の2回実施した農大キャンパスツアーには、併せて51名の参加者があり、普段は見えていただけない圃場やトラクター等を見学して、農業や農大への理解を深めていただくことができたのではないのでしょうか。

例年好評をいただいている茶道部による農大茶席は、コロナ対策のため開催できませんでしたが、茶道具の展示や和菓子を販売して、愛知の伝統文化である茶道の魅力を伝えることができました。

協賛団体・企業等の出店は、コロナ禍の中5団体の出展を行いました。

茶道部展示



茶道部展示



キャンパスツアー

ただき、お茶やトマトケチャップ、ジャム、はちみつの販売や、みあい特別支援学校の生徒さんの作品や古い発動機の展示をしていただきました。

例年に比べると時間も短く、ブースも少なかったですが、来場者の皆さんの笑顔あふれる農大祭となりました。



協賛団体・企業等販売ブース

### 農大祭2021について

今年も12月4日(土)に「派遣手にいこうぜ!!農大祭」すべての命に感謝を込めて「」をテーマに農大祭を開催します。

新型コロナウイルス感染症の動向も注視しながら農産物の販売等の取り組みを通して、愛知県の農業の魅力と大切さを伝えていくとともに、県民の皆様にも農業大学を身近に感じていただけるように学生が中心となって準備を進めています。

同窓会員の皆様も、ぜひお越しくださいますようお願いいたします。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止や縮小する場合があります。

農大祭2021への協力について

農大祭実行委員会では、同窓会会員の皆様から協力を募っております。

ぜひとも皆様のご協力をお願いします。

●協力の金額

1口 1,000円

(1口以上でお願いします。)

●振込先

金融機関 あいち三河農業協同組合 美合支店

口座名義 農大祭実行委員会 会長 堤公生

口座番号 普通 0036083

●振込期限

令和3年11月11日(木)

※振込でご協力をいただく場合は、各金融機関の振込用紙を御利用いただくとともに、御氏名の前に「同窓会 ドウソウカイ」とご記入ください。

なお、振込手数料についても御負担くださるようお願いいたします。

オープンキャンパス2021を開催

令和3年7月3日(土)、10日(土)、27日(火)、8月3日(火)に「オープンキャンパス2021」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止としてソーシャルディスタンスを確保するため、各回とも定員60名で事前予約制として開催しました。

なお、第5回目の開催を予定していた8月24日については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止しました。

定員制のため、農業大学校への入学に関心のある方及びその家族又は高等学校の先生に参加者の対象を絞りましたが、県内はもとより岐阜県や静岡県など遠方からお越しいただきました。

参加者は、大講義室でのパワーポイントを使った農大の概要説明、キャンパスツアーで広大な敷地にあるほ場、機械倉庫などを20名程度で1グループとして見学しました。

今年から、学生会の協力も得て、学生による説明や、在校生との交流の時間も設け、新しい形としました。参加者からは、「学生さんの説明はとても分かりやすくよかったです。」「学生さんのリアルな話が聞けてとても参考になりました。」などの感想が寄せられ、好評でした。



在校生との交流



キャンパスツアー

また、終了後の受験相談では、入学試験、入学後の学習・寮生活などについての個別相談も行い、職員が回答やアドバイスをを行いました。

体育祭は学生が主体的に活動し協同の力を育成するなど、連帯を高める行事の一つです。今年度の体育祭は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令や東海地方の梅雨入り等から開催が心配されました。



各競技で躍動する学生

コロナ禍においても開催が可能な方法等について検討した結果、競技の実施にあたっては学生の安全・安心を第一に、感染症防止対策として手指消毒、マスクの着用、会場内への入場制限、3密(密閉、密集、密着)の回避等の徹底することとし

令和3年度 体育祭の結果

| 順位 | 総合   | 各競技種目  |        |        |
|----|------|--------|--------|--------|
|    |      | ソフトボール | バレーボール | ドッジボール |
| 1位 | 施設野菜 | 畜産     | 畜産     | 切鉢     |
| 2位 | 露地野菜 | 作果     | 作果     | 作果     |
| 3位 | 作果   | 施設野菜   | 施設野菜   | 施設野菜   |

出場チーム 切鉢(切花・鉢物緑花木)、作果(作物・果樹)、露地野菜、施設野菜、畜産(酪農・養豚・養鶏)

東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会は、東海近畿地区の農業大学校9校が持ち回りで、毎年5月第4木・金に開催しています。令和2年度京都大会、令和3年度和歌山大会については新型コロナウイルス感染症拡大防止等の理由から中止となりましたが、毎年、この学生スポーツ大会には本校から総勢80名前後の選手団を送っています。学生スポーツ大会の競技は、野球、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、テニスの6種目で、団体の部と個人の部に分かれています。これまで本校はどの競技においても上位3位に入賞するなど、すばらしい実績を収めています。現在、本校は令和元年度に開催された三重大会で野球、バレーボール、テニスの団体3種目において優勝し、持ち回り優勝旗及びトロフィーを保管・管理しています。令和4年度は本校が、東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会の開催校となります。事務局を本校におき、令和4年5月26日(木)・27日(金)の開催に向けて準備を進めています。



今までに獲得した数々のトロフィー

体育祭

て、幸いにも素晴らしい晴天となった6月3日(木)に開催しました。

競技は、本校グラウンドを会場としたソフトボール、本校体育館を会場としたドッジボール、青年の家体育館を会場としたバレーボールの3種目で、多くの学生が試合に参加できるよう、総当たり戦としました。

チーム編成は、専攻毎又は複数の専攻からなる合同チームを結成し、各競技ではチームから選抜された学生が、節度ある態度と迫力ある力強い動きで若いエネルギーを注いでいました。

近年の体育祭では専攻別対抗を主体とした競技の実施により、各専攻の団結力や農大生としての自覚と協調性を養う良い機会となつていきます。今後は体育祭という行事を通して専攻の枠を超えた農大生のネットワークワークづくりに寄与できることを願っています。

なお、令和3年度の体育祭結果については下記のとおりです。

また、終了後の受験相談では、入学試験、入学後の学習・寮生活などについての個別相談も行い、職員が回答やアドバイスをを行いました。

今年度の体育祭は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令や東海地方の梅雨入り等から開催が心配されました。

東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会

## 企画研修部の各種研修紹介

企画研修部では、農業者が社会情勢の変化と進歩する農業技術に対応するための研修と、一般県民が愛知県の農業を理解するための研修を実施しています。令和3年度に実施する研修の定員総数は約2,000名ですが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、研修によっては参加人数を制限したり、一部リモートでの参加等を行っています。

### ① 農業者生涯教育研修

農業を担うべき者を対象に、農業者の発展段階に合わせた研修を行っています。  
○担い手の確保を目的とした長期研修  
新規参入を含む新規就農者を対象とした「ニューファーマーズ研修」、主に農業以外の分野からの新規就農希望者を対象とした「農業者育成支援研修」、公共職業安定所長から本校での農



農業技術研修

業研修受講の指示又は受講推薦等を受けた離職者を対象に、農業の基礎的知識・技術を習得する「農業技術研修(旧雇用創出農業研修)」を実施しています。  
○農業者を対象とした経営発展段階に応じた研修  
農業者に必要とする知識・技術をタイムリーに習得する「経営管理研修」、「生産高度化研修」、「農産物利活用研修(6次産業化)」を実施しています。

また、経営を発展させたい農業者が営農しながら体系的に経営を学べる場として「愛知農業次世代リーダー塾」や、経営改善効果が期待できる「GAP研修」、女性農業者の活躍を促進するための「女性農業者支援研修」を開講し、本県農業を牽引する優れた経営感覚を備えた農業者の育成を図っています。

本年度の「女性農業者支援研修」は、「あいち農山漁村女性



愛知農業次世代リーダー塾



女性農業者支援研修

の活躍推進大会」と共催で6月15日に青山副知事も出席され行いました。

### ② 農業機械研修

農業機械研修は、農業を担うべき者を対象に、農業機械に関する知識・技術修得を目的として実施しています。  
免許を取得する「大特免許研修」、「けん引免許研修」の他、研修修了証が取得できる「小型車両系建設機械研修」、「フォークリフト研修」、「刈払機研修」等を実施しています。



大特免許研修

農業機械に関する研修は、免許や研修修了証の取得に直結するだけでなく、安全で効率的な農作業に不可欠であるため人気が高く、中には定員を大幅に超える申し込みがある研修もあります。

### ③ 農業理解研修

県民が、愛知県の農業や食料に関する正しい知識を得て、農業・農村への理解と関心を深めるための研修です。

「県民公開講座」は、広く一般の方を対象に、家庭で栽培するカキやウメ等の身近な果樹の剪定方法を学んでもらう研修を実施します。  
「農業ふれあい研修」は、小学校教諭を対象に、野菜づくりの基礎知識を習得して授業に役立ててもらおう研修や、園児や小学生等が農業に親しみ、理解を



農業ふれあい研修

深めてもらうため農大の生産施設見学会を実施しています。  
また、農福連携を推進するため、福祉事業所職員を対象に農作物の栽培技術修得を目的とした「農福連携支援研修」を昨年度に引き続き実施しています。

令和3年度に企画研修部が実施する各種研修一覧

| 研修名     |              | 定員    |
|---------|--------------|-------|
| 農業者生涯教育 | ニューファーマーズ研修  | 20    |
|         | 農業者育成支援研修    | 15    |
|         | 農業技術研修       | 30    |
|         | 経営管理研修       | 80    |
|         | 生産高度化研修      | 840   |
|         | 農産物利活用研修     | 20    |
|         | GAP研修        | 50    |
|         | 女性農業者支援研修    | 120   |
|         | 愛知農業次世代リーダー塾 | 20    |
| 農業機械    | 大特免許研修       | 161   |
|         | けん引免許研修      | 22    |
|         | トラクター作業研修    | 12    |
|         | 小型車両系建設機械研修  | 52    |
|         | フォークリフト研修    | 56    |
|         | 刈払機研修        | 24    |
| 農業理解    | 県民公開講座       | 50    |
|         | 農業ふれあい研修     | 485   |
|         | 農福連携支援研修     | 15    |
| 合計      |              | 2,072 |



研修部の組織が変わりました

農大では組織の再編を行い、令和3年4月から研修部を「企画研修部」と改め、部内に新しく「就農企画科」を設置しました。

この就農企画科には県内全域の就農に関する情報提供や就農相談を行う窓口として「農起業支援ステーション」を設置しました。

農起業支援ステーションは、県内で新規就農を希望する方へ専門の相談員が、最初の就農相談（一次相談）業務を行い、円滑な就農に向けた支援を行います。

なお、農起業支援ステーションで行っている主な業務は以下のとおりです。

- ・就農プランの作成支援
- ・定期的な就農説明会の開催
- ・県外など遠隔地の就農希望者とのリモート相談

就農に関する各種情報の提供  
相談の結果、具体的に就農希望地や栽培品目が決定した後は、就農希望地を管轄する県内8か所に設置された農起業支援センター（農業改良普及課）と連携して、農地の確保をはじめ、研修先農家の紹介、経営管理手法の習得、販路の確保等、就農

実現に向けた具体的な支援を行います。

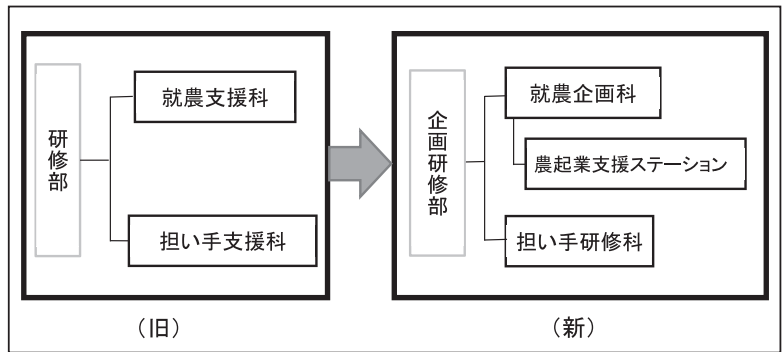
また、従来から実施している各種研修は「担い手研修科」で行います。



就農相談の様子



校長と農起業支援ステーションの関係職員



SNS等による情報発信始めました!

農大では、広報広聴活動により、広く本校に対する理解を促進し、農業の担い手となる学生の確保を図るため、令和3年度から副校長を筆頭に関係課(科)長、担当職員で構成する広報委員会を設置し、農大の魅力や学生の取組等のPRに取り組んでいます。

主な取組として、農大だけでなく印刷物やインターネットなどを使って情報発信しています。令和元年度からは情報発信を強化するため、YouTubeによる学校案内の動画配信やツイッターやインスタグラムなどSNSによる情報発信を始めました。

特に、SNSによる情報発信では、各専攻学生が日頃の実習状況などを自ら工夫して作成し発信しています。

これからも農大では魅力ある学校づくりに向けて取り組むとともに、その魅力を発信していきますので、同窓会員の皆様もSNS等を通じて農大の今の様子をぜひご覧ください。

SNSなどのアドレスです

愛知県立農業大学校公式HP

Instagram

Twitter



令和2年度卒業式

令和3年3月5日(金)に挙  
行し、教育部農学科89名が本校を巣  
立って行きました。

当日は、新型コロナウイルス感  
染症対策のため、式場への保護者  
の入場を御遠慮いただき、You  
Tubeによるライブ配信を行  
いました。

卒業生は専攻実習や農家派遣実  
習、プロジェクト活動、体育祭、  
農大祭、学生寮での生活など、農  
大での生活の様々な思い出を胸に  
卒業式に臨んでいました。

式典では、卒業生全員の名前を  
呼名し、堤校長から総代の平野  
龍明さんに、卒業証書が授与され  
その後、優秀者等17名に県知事  
賞などの

表彰を行  
いました。  
校長式辞  
に続いて、  
柴田同窓  
会長から  
御祝辞を  
いただきました  
ました。

卒業生  
には、本  
校で学ん  
だ知識や  
経験を活  
かし、新  
たな環境  
で活躍す  
ることを  
祈念いた  
します。



卒業式の様子

表彰状受賞者

優秀賞

〔愛知県知事賞〕

平野 龍明 教育部農学科  
果樹専攻

〔大学校長賞〕

長山 龍太 教育部農学科  
鉢物・緑花木専攻

塩田まりも 教育部農学科  
鉢物・緑花木専攻

永井 大樹 教育部農学科  
果樹専攻

日比野悠輝 教育部農学科  
鉢物・緑花木専攻

鈴木 陽太 教育部農学科  
鉢物・緑花木専攻

二村 文太 教育部農学科  
切花専攻

平野 翔吾 教育部農学科  
作物専攻

濱口 愛理 教育部農学科  
果樹専攻

祖父江竜馬 教育部農学科  
露地野菜専攻

兼松 竜誠 教育部農学科  
施設野菜専攻

特別賞

〔大学校長賞〕

諏訪 江厘 教育部農学科  
養豚・養鶏専攻

森下 響 教育部農学科  
施設野菜専攻

金子 愛佳 教育部農学科  
切花専攻

星川 優 教育部農学科  
養豚・養鶏専攻

竹村 幸紀 教育部農学科  
酪農専攻

鋤柄 陽太 教育部農学科  
養豚・養鶏専攻

〔教育部〕

石橋 良洋

〔学務科〕

丹羽 隆展

〔総括専門員〕

前野 貴生

〔主任専門員〕

近藤 靖之

〔主事〕

小椋 瑞輝

〔再任用〕

坂口 卓司

〔非常勤〕

磯貝 勝

〔非常勤〕

辻 邦夫

〔非常勤〕

山下 篤

〔非常勤〕

田口 延行

〔教育部〕

部長 石橋 良洋

科長 丹羽 隆展

主任専門員 前野 貴生

主事 近藤 靖之

再任用 小椋 瑞輝

再任用 坂口 卓司

非常勤 磯貝 勝

非常勤 辻 邦夫

非常勤 山下 篤

非常勤 田口 延行

非常勤 宇野 滋晃

〔農学科〕

科長補佐(花きG班長) 石橋 良洋

主任専門員 野田 輝夫

主任専門員 米倉 悟

主任 田中 良子

技師 真野 恭平

技師 原 知明

非常勤 鶴田 瑞穂

科長補佐(作物果樹G班長) 落合 敏弘

専門員 長崎 晋作

主任 古川 恵

技師 影山 舞子

非常勤 福岡 真穂

科長補佐(野菜G班長) 水野 英之

非常勤

非常勤

非常勤

主任専門員 鬼頭 雅也

主任専門員 吉田 圭介

主任 小嶋 博樹

技師 牧 宏優

非常勤 関 博司

科長補佐(畜産G班長)

川上 幸裕

主任 中尾 秀仁

主任 大口 秀司

主任 栗田 隆之

技師 春日井大輝

再任用 柳澤 淳二

非常勤 村田 結

〔企画研修部〕

〔兼〕部長 鷹羽 靖夫

科長 (就農企画科)

主任専門員 加藤 友康

主任専門員 玉越千賀子

主任 水野 陸実

主任 永井 丈万

科長 (担い手研修科)

主任専門員 横井 信之

専門員 上野 栄子

技師 本庄 弘樹

再任用 水野 秀美

再任用 福井 敏幸

非常勤 杉浦 直樹

非常勤 中村 彰

非常勤 大澤 史季

非常勤 中野 義信

令和2年度 会計決算報告

1 令和2年度 一般会計収支決算

(単位 円)

| 収入総額      | 支出総額      | 差引残額      | 備考                     |
|-----------|-----------|-----------|------------------------|
| 2,834,102 | 1,635,518 | 1,198,584 | 自令和2.1.1<br>至令和2.12.31 |

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

| 費目              | 予算額       | 決算額       | 比較増減額  | 備考                              |
|-----------------|-----------|-----------|--------|---------------------------------|
| 会費              | 1,800,000 | 1,800,000 | 0      | 農学科90名<br>(@20,000円)            |
| 雑収入             | 13        | 15        | 2      | 預金利息<br>2.2.16 5円<br>2.8.16 10円 |
| 繰越金             | 1,010,102 | 1,010,102 | 0      |                                 |
| 役員会清算金          | 0         | 3,400     | 3,400  |                                 |
| 理事会清算金          | 0         | 2,000     | 2,000  |                                 |
| 東海近畿<br>ブロック活動費 | 0         | 18,585    | 18,585 |                                 |
| 計               | 2,810,115 | 2,834,102 | 23,987 |                                 |

支出の部

(単位 円)

| 費目            | 予算額       | 決算額       | 差引残額      | 備考   |
|---------------|-----------|-----------|-----------|--|
| 全国連盟会費        | 65,864    | 65,880    | △16       | 会員割20,000円<br>学生1名500円×90名<br>振込手数料880円        |
| 支部活動費         | 10,000    | 0         | 10,000    |  |
| 技術部会<br>活動費   | 21,320    | 0         | 21,320    |  |
| 旅費            | 90,000    | 0         | 90,000    | 東海近畿ブロック会議中止<br>全国連盟総会書面開催                     |
| 事務用品費         | 40,000    | 3,542     | 36,458    | ラベルシール   |
| 会報発行費         | 760,000   | 736,729   | 23,271    | 同窓会報第36号<br>印刷・発送                              |
| 会議費           | 120,000   | 80,522    | 39,478    | 役員会1回 2.1.15<br>理事会1回 2.2.7開催費<br>(旅費、昼食代、謝礼等) |
| 賃金            | 11,000    | 0         | 11,000    |  |
| 記念品費          | 243,000   | 197,380   | 45,620    | 卒業生記念品<br>(印鑑、ピンバッジ、図書カード)<br>2.3.5            |
| 表彰費           | 70,000    | 0         | 70,000    |  |
| 個人情報<br>業務委託費 | 132,880   | 132,880   | 0         | 会員アーク年間管理料132,000円<br>振込手数料 880円               |
| 交際費           | 10,000    | 0         | 10,000    |  |
| 繰出金           | 400,000   | 400,000   | 0         | 名簿作成基金 200,000円<br>創立記念基金 200,000円             |
| 予備費           | 836,051   | 18,585    | 817,466   | 東海・近畿ブロック活動費                                   |
| 計             | 2,810,115 | 1,635,518 | 1,174,597 |  |

2 令和2年度 名簿作成基金会計収支決算

(単位 円)

| 収入総額      | 支出総額 | 差引残額      | 備考                     |
|-----------|------|-----------|------------------------|
| 1,453,139 | 0    | 1,453,139 | 自令和2.1.1<br>至令和2.12.31 |

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

| 費目   | 予算額       | 決算額       | 比較増減額  | 備考                     |
|------|-----------|-----------|--------|------------------------|
| 繰入金  | 200,000   | 200,000   | 0      | 一般会計から                 |
| 預金利息 | 10        | 12        | 2      | 2.2.16 6円<br>2.8.16 6円 |
| 名簿収入 | 3,000     | 0         | △3,000 |                        |
| 繰越金  | 1,253,127 | 1,253,127 | 0      | 前年度より繰越                |
| 計    | 1,456,137 | 1,453,139 | △2,998 |                        |

支出の部

(単位 円)

| 費目  | 予算額       | 決算額 | 差引残額      | 備考 |
|-----|-----------|-----|-----------|----|
| 予備費 | 1,456,137 | 0   | 1,456,137 |    |
| 計   | 1,456,137 | 0   | 1,456,137 |    |

3 令和2年度 創立記念基金会計収支決算

(1)普通預金

(単位 円)

| 収入総額      | 支出総額 | 差引残額      | 備考                     |
|-----------|------|-----------|------------------------|
| 2,679,803 | 0    | 2,679,803 | 自令和2.1.1<br>至令和2.12.31 |

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

| 費目   | 予算額       | 決算額       | 比較増減額 | 備考                       |
|------|-----------|-----------|-------|--------------------------|
| 繰入金  | 200,000   | 200,000   | 0     | 一般会計から                   |
| 預金利息 | 20        | 22        | 2     | 2.2.16 11円<br>2.8.16 11円 |
| 繰越金  | 2,479,781 | 2,479,781 | 0     | 前年度より繰越                  |
| 計    | 2,679,801 | 2,679,803 | 2     |                          |

支出の部

(単位 円)

| 費目  | 予算額       | 決算額 | 差引残額      | 備考 |
|-----|-----------|-----|-----------|----|
| 予備費 | 2,679,801 | 0   | 2,679,801 |    |
| 計   | 2,679,801 | 0   | 2,679,801 |    |

(2)定期預金

(単位 円)

| 収入総額    | 支出総額 | 差引残額    | 備考                     |
|---------|------|---------|------------------------|
| 500,625 | 0    | 500,625 | 自令和2.1.1<br>至令和2.12.31 |

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

| 費目   | 予算額     | 決算額     | 比較増減額 | 備考        |
|------|---------|---------|-------|-----------|
| 預金利息 | 85      | 43      | △42   | 2.2.5 43円 |
| 繰越金  | 500,582 | 500,582 | 0     | 前年度より繰越   |
| 計    | 500,667 | 500,625 | △42   |           |

支出の部

(単位 円)

| 費目  | 予算額     | 決算額 | 差引残額    | 備考 |
|-----|---------|-----|---------|----|
| 予備費 | 500,667 | 0   | 500,667 |    |
| 計   | 500,667 | 0   | 500,667 |    |

## 令和3年度 会計予算

### 1 令和3年度 一般会計収支予算 収入の部

(単位 円)

| 費目  | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額   | 備考          |
|-----|-----------|-----------|---------|-------------|
| 会費  | 1,800,000 | 1,800,000 | 0       | 農学科90名      |
| 雑収入 | 13        | 13        | 0       | 預金利息(2月・8月) |
| 繰越金 | 1,198,584 | 1,010,102 | 188,482 | 前年度より繰越     |
| 計   | 2,998,597 | 2,810,115 | 188,482 |             |

### 支出の部

(単位 円)

| 費目        | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額   | 備考  |
|-----------|-----------|-----------|---------|---|
| 全国連盟会費    | 72,380    | 65,864    | 6,516   | 会員割 20,000円<br>学生1名 500円×103名<br>振込手数料 880円 |
| 支部活動費     | 10,000    | 10,000    | 0       | 5,000円×2支部                                  |
| 技術部会活動費   | 21,320    | 21,320    | 0       | 10,000円×2部会<br>振込手数料 660円×2                 |
| 旅費        | 90,000    | 90,000    | 0       | 東海近畿ブロック<br>会議、全国連盟総会<br>の出席旅費              |
| 事務用品費     | 40,000    | 40,000    | 0       | 文具等   |
| 会報発行費     | 760,000   | 760,000   | 0       | 同窓会報発行・発送                                   |
| 会議費       | 120,000   | 120,000   | 0       | 役員会、<br>理事会開催費                              |
| 賃金        | 11,000    | 11,000    | 0       |   |
| 記念品費      | 243,000   | 243,000   | 0       | 卒業生記念品代<br>103人                             |
| 表彰費       | 70,000    | 70,000    | 0       | 同窓会員の<br>表彰記念品代                             |
| 個人情報業務委託費 | 132,880   | 132,880   | 0       | 会員データ年間管理料<br>132,000円<br>振込手数料 880円        |
| 交際費       | 10,000    | 10,000    | 0       |   |
| 繰出金       | 400,000   | 400,000   | 0       | 名簿作成基金 200,000円<br>創立記念基金 200,000円          |
| 予備費       | 1,018,017 | 836,051   | 181,966 |   |
| 計         | 2,998,597 | 2,810,115 | 188,482 |   |

### 2 令和3年度 名簿作成基金会計収支予算 収入の部

(単位 円)

| 費目   | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額   | 備考       |
|------|-----------|-----------|---------|----------|
| 繰入金  | 200,000   | 200,000   | 0       | 一般会計から繰入 |
| 預金利息 | 10        | 10        | 0       |          |
| 名簿収入 | 3,000     | 3,000     | 0       |          |
| 繰越金  | 1,453,139 | 1,253,127 | 200,012 | 前年度より繰越  |
| 計    | 1,656,149 | 1,456,137 | 200,012 |          |

### 支出の部

(単位 円)

| 費目  | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額   | 備考 |
|-----|-----------|-----------|---------|----|
| 予備費 | 1,656,149 | 1,456,137 | 200,012 |    |
| 計   | 1,656,149 | 1,456,137 | 200,012 |    |

### 3 令和3年度 創立記念基金会計収支予算

#### (1)普通預金 収入の部

(単位 円)

| 費目   | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額   | 備考       |
|------|-----------|-----------|---------|----------|
| 繰入金  | 200,000   | 200,000   | 0       | 一般会計から繰入 |
| 預金利息 | 20        | 20        | 0       |          |
| 繰越金  | 2,679,803 | 2,479,781 | 200,022 | 前年度より繰越  |
| 計    | 2,879,823 | 2,679,801 | 200,022 |          |

#### 支出の部

(単位 円)

| 費目  | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額   | 備考 |
|-----|-----------|-----------|---------|----|
| 予備費 | 2,879,823 | 2,679,801 | 200,022 |    |
| 計   | 2,879,823 | 2,679,801 | 200,022 |    |

#### (2)定期預金 収入の部

(単位 円)

| 費目   | 本年度予算額  | 前年度予算額  | 比較増減額 | 備考      |
|------|---------|---------|-------|---------|
| 預金利息 | 50      | 85      | △35   |         |
| 繰越金  | 500,625 | 500,582 | 43    | 前年度より繰越 |
| 計    | 500,675 | 500,667 | 8     |         |

#### 支出の部

(単位 円)

| 費目  | 本年度予算額  | 前年度予算額  | 比較増減額 | 備考 |
|-----|---------|---------|-------|----|
| 予備費 | 500,675 | 500,667 | 8     |    |
| 計   | 500,675 | 500,667 | 8     |    |

## 事務局から

毎年「同窓会報」を発行するに当たり、住所不明等で多数の会員に会報が届いていません。会員の皆様で、住所や姓が変わるなど状況に変化があった場合、その状況を事務局までお知らせください。

また、同窓会報の内容は農大ホームページの中の同窓会のページで見ることができます。

会員様の中でホームページを見るから同窓会報の送付を経費節約のために止めていただいて結構と言われる方がおみえになりましたら、送付不要を希望される場合のみ、官製はがきにその旨を書き、住所氏名を記入し、10月31日までに農大事務局にご送付ください。その方のみ次号から送付を止めさせていただきます。

愛知県立農業大学校 同窓会事務局  
同窓会長 柴田 隆夫

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1の2  
電話 (0564) 51-1602 F A X (0564) 51-4831

## 会員データについて

愛知県立農業大学校同窓会は株式会社廣済堂ネクストへ会誌の発送業務を委託いたしました。その際、お預かりする個人情報等は個人情報保護法に準拠する日本の法令その他の規範を厳守して、左記目的の範囲のみ利用いたします。

**株式会社廣済堂ネクストの個人情報取扱について**

- いただいた個人情報は、以下の目的で使用いたします。
  - ・ 学校ならびに同窓会からの通信文書および名簿の発送
  - ・ 同窓会が本来目的により活動する場合、必要と思われる作業を進行する際など合法的な目的のために活用する場合
- 同窓会会則に準じます

● ご提供いただいた個人情報は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。

● 個人情報保護法に基づき、本人にかぎり、開示、訂正、削除を求めることができます。

● 弊社は、当社が信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。

● 弊社は、当社が信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。